

■参考資料

1. 世界の水辺

世界の都市には、その都市を代表する川や水辺と周辺の街並みが一体となった、美しく風格のある空間が形成されています。



品格のある水辺

プリンス運河(オランダ)



統一感のある水辺の景観

ヤラ川(オーストラリア)



エリアでのマネージメント

セーヌ川(フランス)



街並みにふさわしい水辺利用

ニューハウ運河(デンマーク)



居心地の良い水辺空間

ライン川(ドイツ)

## 2. 世界の水辺利用の実例

### (1) フランス・パリ（セーヌ川）：パリ・プラージュ

■ 夏のバカンスシーズンに高速道路の通行を止め、人工的なビーチを造成し市民に開放

開催期間：夏季1ヶ月間

(2013年7月20日～8月18日)

来客者数：23万人（2013年実績）



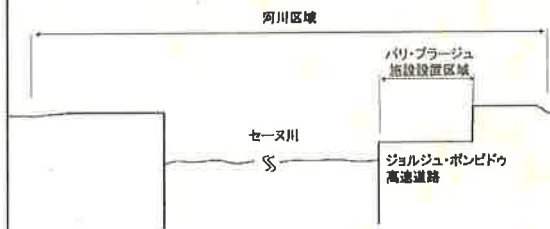
普段の高速道路の様子



パリプラージュの様子

(著作権者：elasher-fun、ライセンス：Co-by-ae-3.0)

#### ● 空間構成（断面構成）



- ・施設設置場所：河川区域内の高速道路（セーヌ川右岸）
- ・施設内容：
  - ヤシの木、ビーチパラソル、ビーチチェア、
  - 屋外のクライミング壁、屋外のカフェ、
  - 軽食スタンド、レンタル自転車、人工の砂浜、
  - 砂浜や水面を使ったカヌー、手漕ぎボート、
  - 水上レストランなど。
- ・入場料は無料（カフェ、レストラン、売店、アトラクション使用料等は別）

(2) イギリス-ロンドン (テムズ川)

- 1988年の「一般開発令」により、用途変更の自由度を広げたこと等で、河川沿いの工場や倉庫が、事務所へとコンバージョンが進んだ。
- 毎年秋に行われる川をテーマとする芸術と教育の祭典テムズフェスティバルが行われ、多くの参加者がいる。



テムズパス

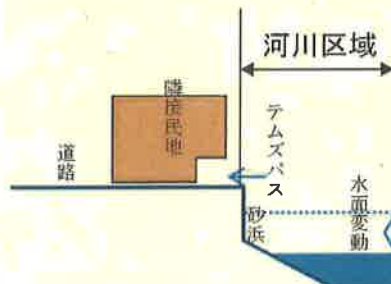


テムズフェスティバル

出典: The Mayor's Thames Festival ホームページ  
<http://thamesfestival.org/>



テムズパス(一部は建物1階部分を通過)



川沿いにパブリックフットパスの一つである「テムズパス」と呼ばれる遊歩道があり、川沿いの民地でも一部が遊歩道や建物内通路(アーケード)として解放されている。テムズパスは、源流部から河口部まで、一部には川辺を離れる箇所もあるが、ほぼ川沿いに続いている。

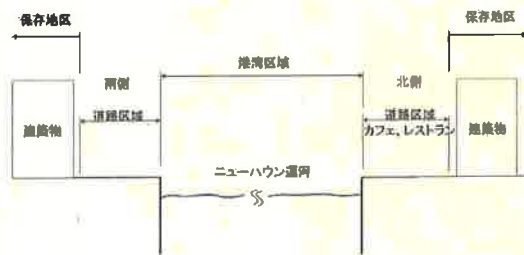


### (3) デンマーク-コペンハーゲン (ニューハウ運河)

■ ニューハウ (新たな港を意味する) 沿いは、期間限定の歩行者天国とすることでカフェ・レストランやアンティークショップが軒を連ね、多くの観光客が来訪している。オープンカフェ設置基準で利用範囲等を規定している。



#### ●空間構成 (断面構成)



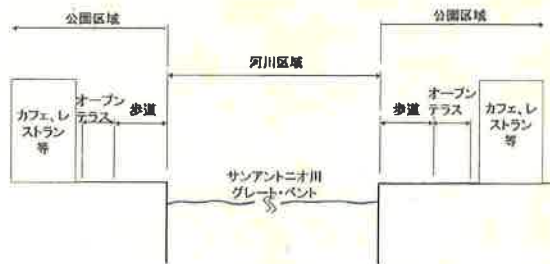
- ・施設設置場所：道路区域 (ストロイエ：歩行者天国)
- ・施設内容：カフェ、レストラン (北側)
- ・コペンハーゲンのストロイエ (歩行者天国) で  
カフェ、売店等が市に払う使用料は平均3,900円/月・m<sup>2</sup>

(4) アメリカ-サンアントニオ (サンアントニオ川)

- サン・アントニオ川の蛇行部を直線化し、水門で区切って洪水対策を施し、残された蛇行部 (グレートベント) にリバーウォークを整備し、囲まれたエリアにホテル・コンベンションセンター・複合施設を建設して、全米屈指の観光都市に発展。(観光客数は約1千万人/年)



●空間構成 (断面構成)



- ・施設設置場所：公園区域
- ・施設内容：
  - オープンテラスを設置したカフェ・レストラン
  - 普通のカフェ・レストラン (オープンテラス無し)
  - 観光者用施設
  - ホテル
  - リバーボート等

### 3. 江戸の水辺

日本においても、水辺は古くは万葉の時代に詠まれた和歌や、浮世絵に描かれた江戸の下町と大川（隅田川）のように、積み重ねられた歴史・文化の奥深さとたゆたえ、川そのものが周辺の街並みと融け合っ、地域の代表的な「顔」として美しく風格のある空間を形成していました。



江戸期の隅田川・両国橋



江戸期の日本橋川-1



江戸期の日本橋川-2



#### 4. 近年の日本の水辺（荒廃期）

戦後、高度経済成長等々、治水を中心とした時代の要請にこたえるべく水辺は改変され、その一方で、人々の暮らしや街並みは水辺から遠ざかり、かつての地域の「顔」としての美しい姿は喪失してしまいました。多くの日本の都市では、川は効率を重視した排水路と化し、街並みからも背を向けられ、代表的な「顔」としての川や水辺の記憶は徐々に薄れていき、今や絵画や写真でしか見ることは出来ない状況です。

1960年代：悪臭を放つ川（隅田川）



現在：川に背を向けた街（神田川）



1970年代：水質汚濁が進み泡立つ川（多摩川）

現在：ゴミが投棄された川（境川）



1970年代：水汚濁が進みスカム（浮きかす）が浮かぶ川（綾瀬川）

5. 日本の水辺（萌芽期）

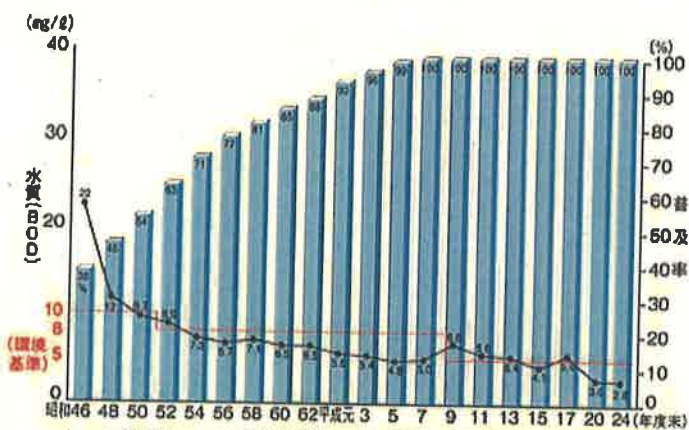
下水道の普及と河川水質

汚染され悪臭を放った川は、下水道の整備や水質規制といったハードとソフトの両施策により1970年代にはかなり水質が改善されてきました。昭和後期から平成にかけては、「かわまちづくり支援事業」、河川敷地占用許可準則の緩和等が行われ、少しずつ川と人々が近づきつつあります。

下水道の普及と河川水質

下水道の普及に伴い、河川の水質も改善している。

図は、隅田川の例だが、一時は悪臭を放っていた川も流域の下水道の普及により、徐々に水質が改善された。



注1:普及率は、隅田川流域(板橋、北、練馬区)の普及率  
 注2:水質は、小台橋地点の年間のBODの値(75%水質値)

(目)

(出典：東京都の下水道 2013)

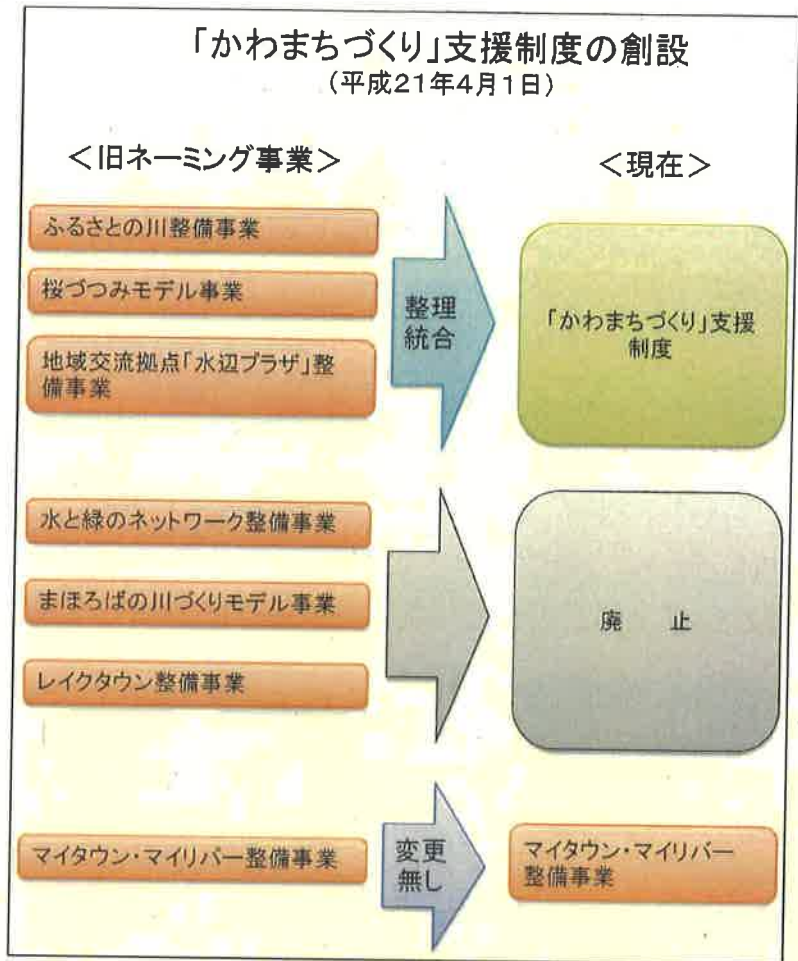


川を活かしたまちづくりの推進

国土交通省では、昭和60年代から、各時代の情勢に応じて「ふるさとの川整備事業」や「桜づつみモデル事業」等の多種多様な河川事業制度によって、地域の河川利用を推進する取り組みを支援してきた。

平成21年度に創設された「かわまちづくり」支援制度は、それまでの各種事業制度を発展的に統合して誕生した。「かわまちづくり」とは、河川空間とまちの空間の融合が図られた、良好な空間形成を目指す取り組みをいう。当該支援制度では、観光等の活性化につながる景観・歴史・文化等の地域の「資源」や地域の「知恵」を活かし、市町村等が河川管理者や地元住民と連携して作成する水辺の整備・利活用計画（かわまちづくり計画）に基づく取り組みに対して、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行うもので

ある。従来の各種事業制度では、拠点や個別区間での利活用増進を目標としたハード整備による支援が主だったのに対し、「かわまちづくり」支援制度では、より広域の「まち全体」を視野に入れ、地域活性化に資する河川空間利用を支援することを目指している。



川を活かしたまちづくりに関する制度



かわまちづくり支援制度のスキーム

河川敷地占用許可準則

河川敷地占用許可準則の緩和

従前

- ・ 占用可能な施設及び主体  
→ 公共性又は公益性のある施設(公園等)及び主体(地方公共団体等)に限定

特例措置  
(社会実験)

- ・ 2004年3月より、民間事業者による河川敷地での営利活動を可能にする規制緩和を社会実験(特例措置)として実施。
- ・ 道頓堀川(大阪市)、京橋川等(広島県)等の8区域で限定的に実施。



道頓堀川(大阪市)



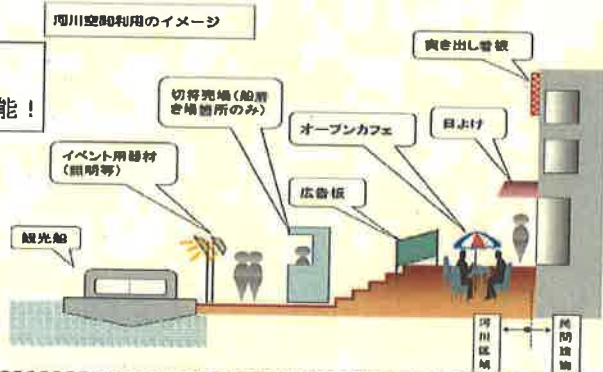
京橋川(広島県)

2011年3月より

一部改正

- ・ 地方公共団体の地域活性化施策の発意により
- ・ 協議会等の活用などにより、地方公共団体が地域の合意を図った上で、
- ・ 区域、占用方針(施設・許可方針)、占用主体を予め河川管理者が指定すれば

- ・ 民間事業者による河川敷地の占用が可能!
- ・ イベント施設やオープンカフェ等の設置が可能!



河川占用許可準則  
(平成11年8月改正)

全国の河川

占用施設

公園、運動場、橋梁、送電線等の公共性又は公益性のある施設

占用主体

地方公共団体、公益事業者等の公的主体

特例措置  
(平成16年3月通知)

社会実験として以下の8河川  
 砂川(平野町)、利根川(香取市)  
 堀川(香取市)、豊島川等(大阪市)  
 道頓堀川(大阪市)、英田川(英田町)  
 京橋川等(広島市)、鞆川等(福岡市)

占用施設

- 左記施設に加え、
- ①広場、イベント施設等(これらと一体をなす飲食店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、バーベキュー場等)
  - ②日よけ、船上食事施設、突き出し看板

占用主体

- ①の施設は、公的主体
- ②の施設は、公的主体又は民間事業者

河川占用許可準則  
(平成23年3月改正)

全国の河川

占用施設

- 左記施設と同じ
- ①同左
  - ②同左

占用主体

- ①②の施設の区別なく、公的主体又は民間事業者



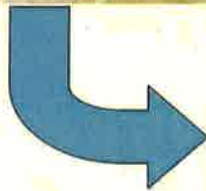
総合設計制度（建築基準法）

総合設計制度の活用（広島市：京橋川）

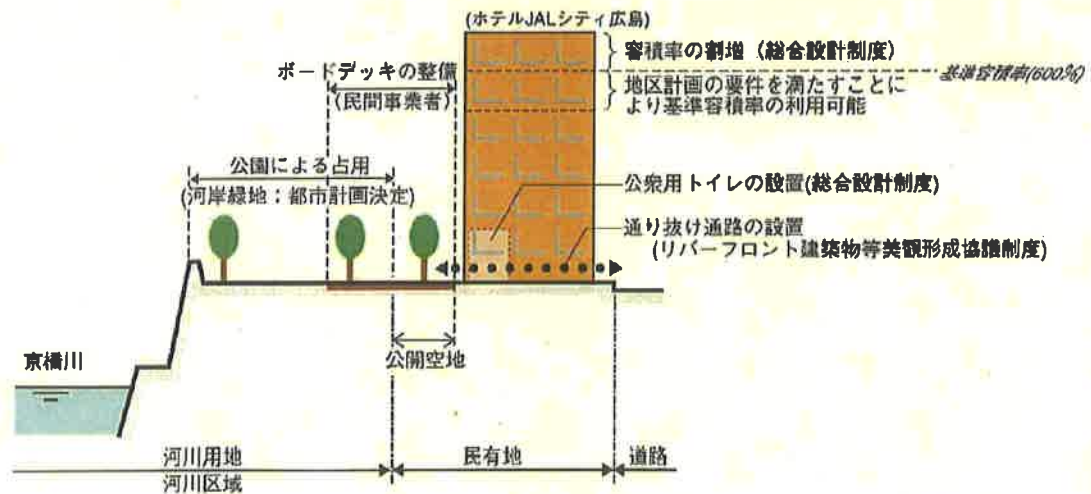
河岸緑地に面して公開空地を設置したことなどにより、容積率が割増された。



整備前



整備後





6. 日本の水辺利用の実例

### 東京都台東区（隅田川） ～都内初の民間占用～

- 東京スカイツリーを臨む絶好のビューポイントである台東区立隅田公園内に、水辺空間を活用したオープンカフェを出店する事業者を公募。
- 河川敷地に民間事業者が出店するのは、河川敷地占用許可準則の改正により可能になったもので、都内初の事業。



カフェ設置前



二天門防災船着場



カフェ設置後



## 東京都台東区（隅田川）

### ●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域および都市公園区域
- ・施設内容：防災船着場（浮桟橋）、オープンカフェ
- ・河川占用料：船着場は免除  
オープンカフェは年額9,054円/m<sup>2</sup>
- ・公園占用料：日額37円/m<sup>2</sup>

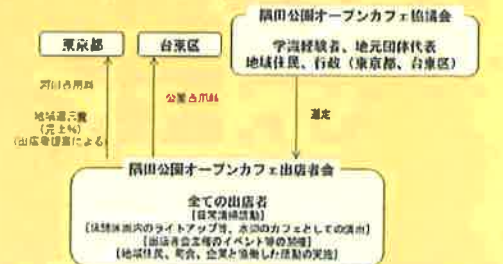


### ●事業スキーム

#### ◆防災船着場（浮桟橋）



#### ◆オープンカフェ



※占用料は一発会計として処理される

## 愛知県名古屋市（堀川） ～財団による占用～



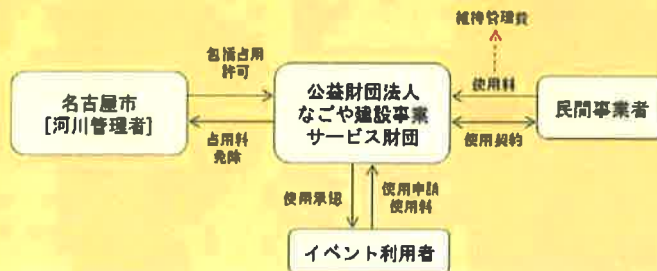
## 愛知県名古屋市（堀川）

### ●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：オープンカフェ
- ・河川占用料は無し（使用料のみ徴収）



### ●事業スキーム



※占用料は一般会計として処理される



## 大阪府大阪市（土佐堀川）～協議会による包括的な利用～

### 北浜テラス設置の歩み

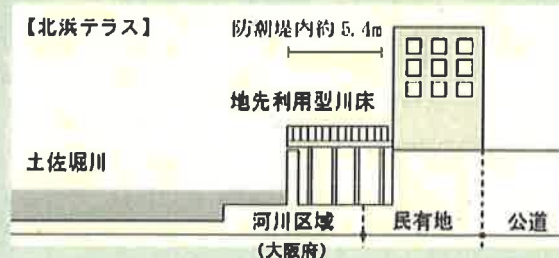
- 2008.10 川床社会実験実施（1ヶ月）2000人以上の来客
- 2009.1 河川敷地占用許可準則の特例措置 改正  
（占用施設に「川床」等を追加）
- 2009.5 川床社会実験実施（3ヶ月）
- 2009.7 北浜水辺協議会設立
- 2009.11 北浜水辺協議会が河川敷における都市・再生等利用区域の  
占用主体として許可され、包括的な利用を行う  
（民間の任意団体として全国初）  
常設型川床として3店舗開業
- 2013.4 川床9店舗



## 大阪府大阪市（土佐堀川）

### ●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：川床



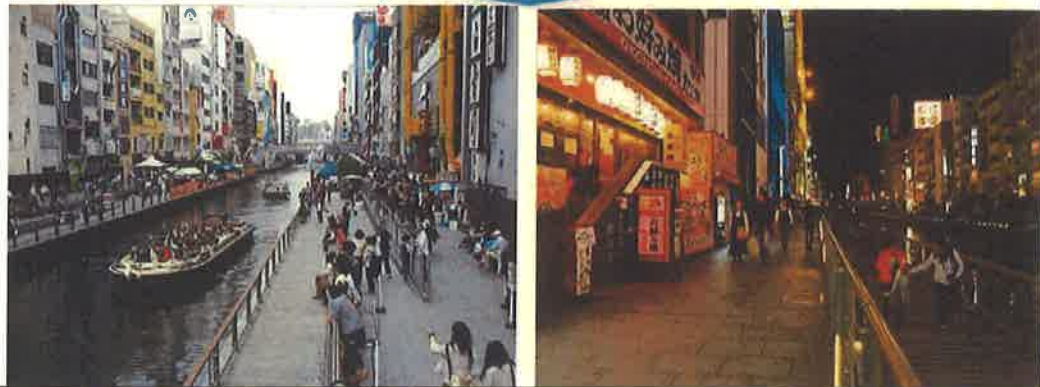
### ●事業スキーム



※占用料は一般会計として処理される



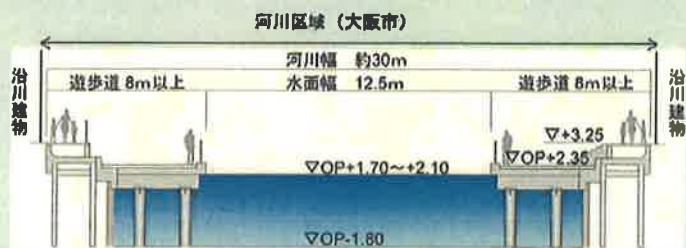
## 大阪府大阪市（道頓堀川）～鉄道事業者による包括的な利用～



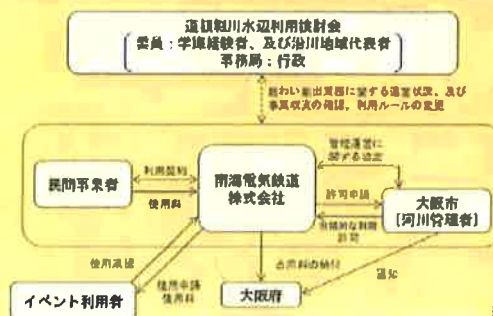
## 大阪府大阪市（道頓堀川）

### ●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：橋樑



### ●事業スキーム



## 広島県広島市（京橋川・元安川）～協議会による占用～

- 京橋川や元安川の河岸緑地において、水辺に新たな魅力を創り出すため、民間のノウハウや活力を導入した「水辺のオープンカフェ」を突進。
- 京橋川沿いの河岸緑地では7店舗、元安川沿いで1店舗が営業中であり、多くの市民や来訪者に憩いの場、交流の場を提供するとともに、うるおいと安らぎを感じる風景を創出。
- 2006年10月に開業した京橋川オープンカフェ（独立店舗型）は、河川空間で民間事業者による常設店舗を設置した全国初の取り組み。
- 隣接民有地内の店舗が河岸緑地を一体的に空間利用する「地先利用型」と河岸緑地に新たに店舗そのものを設置する「独立店舗型」の2形態がある。



京橋川のオープンカフェ（地先利用型）



京橋川のオープンカフェ（独立店舗型）

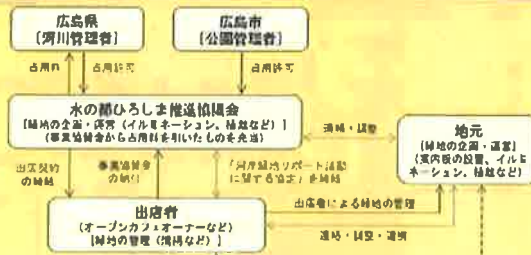
## 広島県広島市（京橋川・元安川）

### ●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域および都市公園区域
- ・施設内容：オープンカフェ
- ・事業協賛金：
  - 【京橋川】
  - 地先利用型 2,610円/m<sup>2</sup>・年  
(うち河川占用料210円/m<sup>2</sup>・年)
  - 独立店舗型 13,090円/m<sup>2</sup>・年  
(うち河川占用料2,400円/m<sup>2</sup>・年)



### ●事業スキーム



付帯的な空間・施設の整備、確保（地先利用型に限り）  
・公共空間の創出  
・通り抜け誘導の整備  
・市民トイレの確保

※占用料は一般会計として処理される



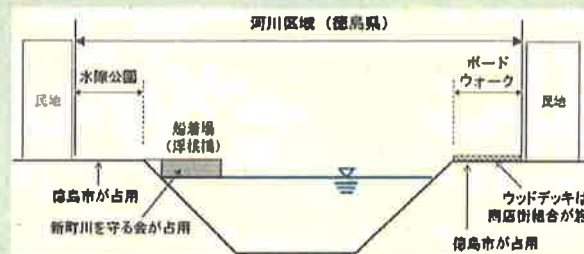
## 徳島県徳島市（新町川） ～NPOによる占用～



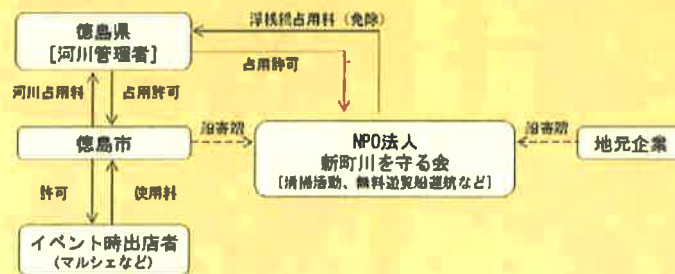
## 徳島県徳島市（新町川）

### ●空間構成（断面構成）

- ・施設設置場所：河川区域
- ・施設内容：船着場（浮橋橋）、マルシェ



### ●事業スキーム



※占用料は一般会計として処理される



7. 「水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会」

水辺、都市のリノベーションに高い関心を持つ、学識者、アーティスト、クリエイター、金融、不動産等々の各界の有識者からなる『水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会』を立ち上げ、未来創造へのヒントをまとめることにしました。

「水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会」

コメンテーターリスト

(敬称略・50音順)

	氏名	所属
座長	じんない ひでのぶ 陣内 秀信	法政大学デザイン工学部建築学科教授
コメンテーター	い で げんいち 井出 玄一	一般社団法人ポート・ピープル・アソシエーション代表理事
〃	いとう かおり 伊藤 香織	東京理科大学理工学部建築学科准教授
〃	かない つかき 金井 司	三井住友信託銀行経営企画部理事・CSR担当部長
〃	きしい たかゆき 岸井 隆幸	日本大学理工学部土木工学科教授
〃	くつな ひろき 忽那 裕樹	株式会社 E-design 代表取締役
〃	くめ のぶゆき 久米 信行	久米繊維工業株式会社取締役会長
〃	しむた のぶこ 紫牟田 伸子	紫牟田伸子事務所代表
〃	たなか よしひろ 田中 義宏	大阪府都市整備部技監 (代理：葉田博行 河川環境課長)
〃	つじた まさひろ 辻田 昌弘	三井不動産株式会社 S & E 総合研究所長
〃	とおやま まさみち 遠山 正道	株式会社スマイルズ代表取締役社長
〃	なかじま たかし 中島 高志	東京都建設局河川部長

■会議開催日等

- 第1回懇談会 平成25年12月27日 船上（隅田川、荒川等）
- 第2回懇談会 平成26年1月16日 リバーフロント研究所 会議室（日本橋川沿い）
- 第3回懇談会 平成26年2月7日 MIRRORビル7F プリバード（隅田川沿い）
- 第4回懇談会 平成26年2月27日 マーチエキュート神田万世橋（神田川沿い）



災害対策支援船「あらかわ号」

**第1回懇談会**

国土交通省が所有する「あらかわ号」にて、隅田川等の状況を視察しつつ、水辺への思いを語り合った。  
最初の顔合わせであったが、「これは面白いことになるぞ」と互いに感じたとのことである。

**第2回懇談会**

日本橋川沿いに面したビルにあるリバーフロント研究所の会議室にて開催。  
「もっと水辺を感じたい！」との意見で一致。次回は…。



公益財団法人 リバーフロント研究所



懇談会開催場所位置図





第3回懇談会

隅田川の厩橋に程近いMIRRORビル7Fのプライベートサロン「プリバード」にて開催。

このビルはリノベーションにより食とアートを創造する複合施設に生まれ変わったとか。

東京スカイツリーも間近に見え、我々の発想も宙を飛ぶ勢いで、熱い議論が交わされた。

プリバードからの夜景



MIRRORビル7F「プリバード」



第4回懇談会

明治45年に開業された万世橋駅をリノベーションして、昨年オープンした「マーチエキュート神田万世橋」のイベントスペースにて開催。

神田川沿いに建つ往時の面影を丁寧に保存した建物は、レトロな雰囲気を感じさせた。

先人の思いに心を寄せつつ、未来の日本の水辺について語り合った。



マーチエキュート神田万世橋



8. 最近のトピックス

**「全国の水辺自慢写真集」の募集・公表** (平成25年9月)

～河川の美しさを再認識し、魅力ある水辺づくりへの意識の醸成～

○川や水辺の様々な**魅力や価値を再認識**するとともに、他の地域の水辺の風景に接することにより、**今後の水辺づくりを考えるきっかけ**となることを期待し、地域のシンボルとなっている「美しい水辺とまち」をテーマに風景写真を募集。



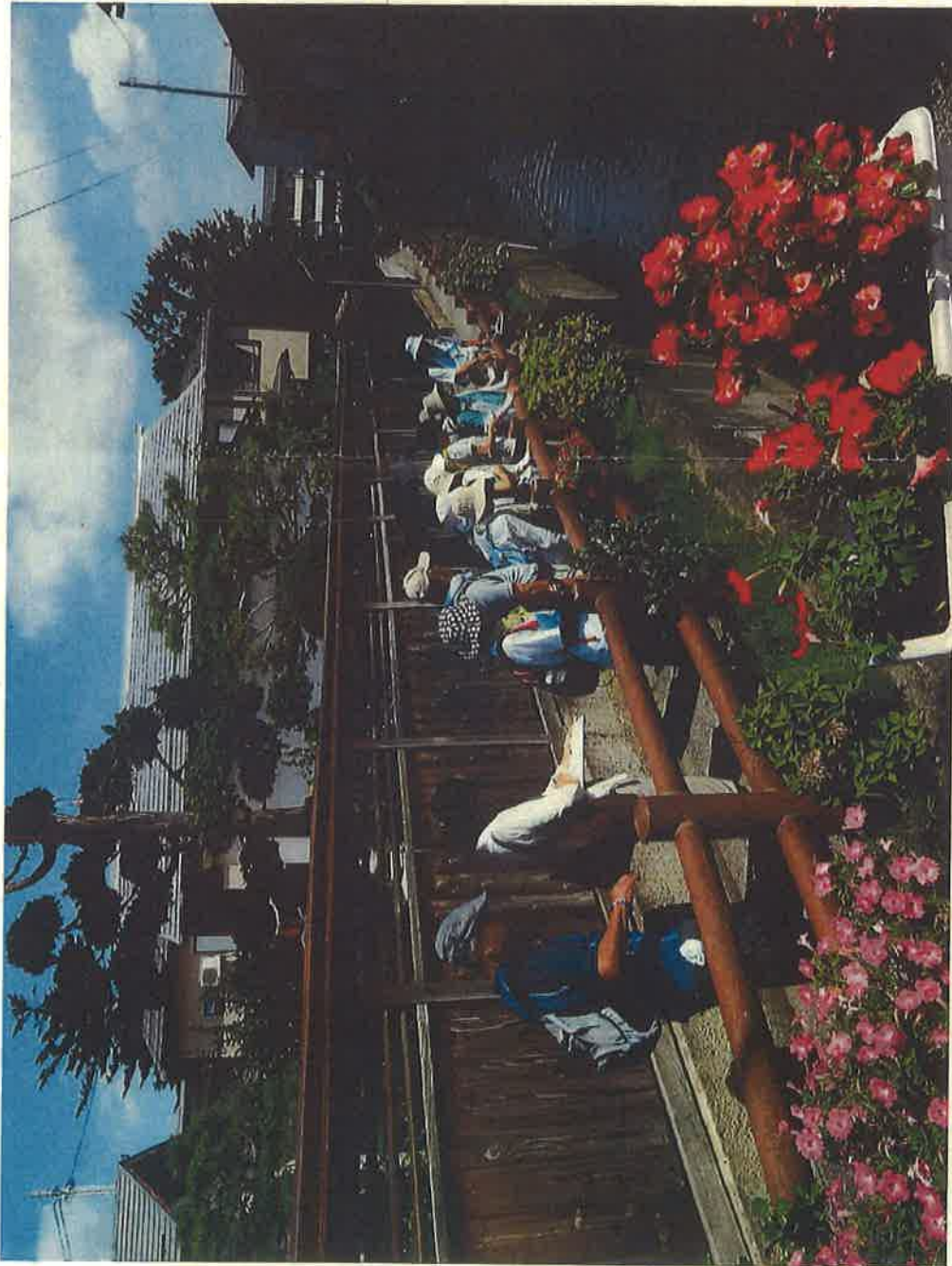
国土交通省 水管理・国土保全局の廊下を全面的にギャラリーとして活用し全写真を展示

URL : <http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/utsukushiimiube/>

QRコード :



## 花揺らぐ水辺のまち歩き（山形県長井市）



長井市

### 【いい川情報(私のまちのいい川自慢、見どころ 等)】

長井市は市内にいくつもの水路が張り巡らされており、市内外からいらっしゃるお客様にまちを歩きながら水豊かな景観をお楽しみいただいております。平野川沿いには近隣の住民の皆さんによる花の植栽がされており、平野川を泳ぐ魚たち、梅花藻の花とともに歩く人の足を止めるひとつの観光資源となっています。

### 【応募理由】

長井市には水にまつわる数多くの観光資源があり、これまでもまち歩き等に活用されてきましたが、全国規模で広く周知することで、来訪者の増加、地域資源のブラッシュアップや地域活性化に寄与するためです。

### 【撮影者、撮影場所、時期、時間 等】

長井市撮影  
山形県長井市あら町 平野川沿い  
平成25年 夏

### 【問い合わせ先】

山形県長井市まち・住まい整備課  
電話：0238-87-0863



# 赤川の河川公園で演じられる幽玄の舞（山形県鶴岡市）

鶴岡市 Tsuruoka city



**【いい川情報(私のまちのいい川自慢、見どころ 等)】**

榊引総合運動公園は赤川の河川環境を活用した施設で、陸上競技場やグラウンドゴルフ場、なべっこ広場、イベント会場を備え、年間を通して多くの市民が利用します。特に毎年7月最終土曜日の夕方は、500年以上に渡り伝承されている夏文「黒川能」の野外能楽イベント「水焔の能」が開催され、水と炎で幻想的に演出された能楽を鑑賞するために全国から多くのファンが来訪し、伝統文化の継承・地域活性化に寄与しております。

**【応募理由】**

河川公園ならではの環境を活用したイベント「水焔の能」は今年30回目の節目を迎えました。来年は山形子ステーションキャンペーンが開催されるため、景観の素晴らしさや能楽の楽しさなどの魅力発信に努めて来訪者を増加させ、観光振興並びに地域活性化に寄与するためです。

**【撮影者、撮影場所、時期、時間 等】**

鶴岡市榊引庁舎撮影  
山形県鶴岡市 榊引総合運動公園（赤川）  
平成22年7月31日、平成23年7月30日 夕方～夜

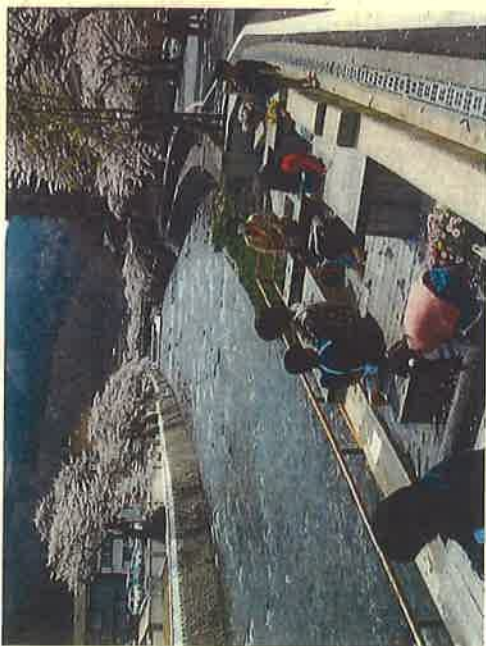
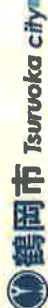
**【問い合わせ先】**

鶴岡市榊引庁舎産業課  
電話:0235-57-2115



# 四季折々の風情豊かな温海川（山形県鶴岡市）

あつみがわ



## 【いい川情報(私のまちのいい川自慢、見どころ 等)】

開湯1,000年を超える歴史あるあつみ温泉の中心を流れる温海川は、春は東北夢の桜街道49番札所に選定されている桜並木に彩られ、夏は鮎釣り、秋は鮎の漕上が覆られる清流です。川底から湧き出た温泉が海を温めたことが温海(あつみ)の地名の由来とも言われています。川沿いには、足湯や休憩スペースが設けられ観光スポットとなっています。

## 【応募理由】

四季折々姿を変ええる温海川の魅力を全国に周知することで、より多くの来訪者にあつみ温泉を訪れていただくためです。

## 【撮影者、撮影場所、時期、時間 等】

鶴岡市温海庁舎産業観光工商工班撮影  
山形県鶴岡市湯温海 温海川  
平成22年7月 日中

## 【問い合わせ先】

鶴岡市温海庁舎産業観光工商工班  
電話:0235-43-4617